

## INFORMATION お知らせ

\\ 皆さまのご参加をお待ちしています。 \\

令和4年度 安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業

第7回 市民公開講座


最期まで


“笑顔”で生き抜く

～ともに暮らそう 住み慣れたこのまちで～

 メイン  
テーマ

『認知症』

令和4年 **11月19日** (土)
 [開場] 13:00  
[開演] 13:30・15:30

クリスタルアージュ 大ホール(安芸高田市民文化センター)  
 〒731-0501 安芸高田市吉田町吉田761

参加費無料

参加申込不要

要約筆記あり

1 JA吉田総合病院の状況報告

JA吉田総合病院 病院長 **杉山 英二** 氏

2 特別講演

「地域で安心して暮らしていくために  
～認知症を理解し、地域と共に取り組む～」

三次神経内科クリニック 花の里 院長 **伊藤 聖** 氏



3 地域の認知症に関する活動報告

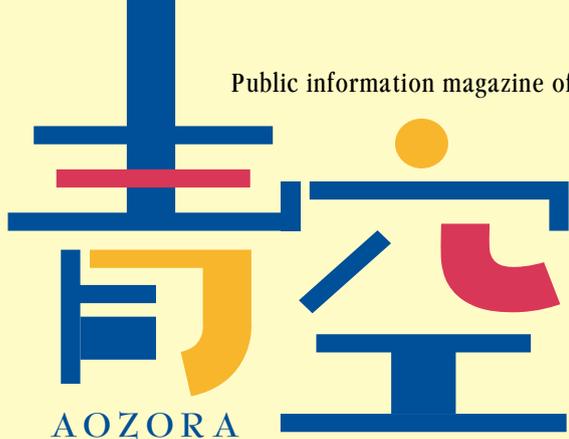
● 安芸高田市地域包括支援センター  
**沖田 圭司** 氏

● 安芸高田市 福祉保健部 社会福祉課  
**岡野 あかね** 氏

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に配慮して開催いたします。今後の感染状況により、中止となる場合もございます。来場参加される方はマスクの着用、手指消毒への協力をお願いいたします。

後援 / 安芸高田市医師会・安芸高田市歯科医師会・安芸高田市医師会訪問看護ステーション・社会福祉法人安芸高田市社会福祉協議会  
安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会・安芸高田市老人福祉施設連絡協議会・芸北地域保健対策協議会・安芸高田市民生委員児童委員協議会

お問合せ(事務局) / JA吉田総合病院 地域医療連携室 TEL 0826-42-0636 (代)



やさしい心で  
良質な医療を

秋号

vol. 74

JA吉田総合病院

発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院  
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666  
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007  
2022年(令和4年)11月発行  
<https://yoshida-gene-hospi.jp/>



## 健康長寿の秘訣 ～蛋白尿は血管障害早期からのシグナル～

副院長 人工透析センター主任部長 丹治 英裕



寿命は何で決まるかご存じでしょうか。それは生まれる前から神様が決めていることなのでしょう。確かに4分の1は遺伝的要因で決まっています、自分の意志では変えることの出来ないのだそうです。しかし残りの4分の3は生活習慣を改善したり病気を早期発見・治療することで、今からでも変えることが出来る要因だそうです。食事や運動などの生活習慣については情報があふれていますので省きますが、今日は皆さんに知っておいてほしい蛋白尿と長寿の関係についてお話します。

健康で100歳以上生きている人を調べてみると、心臓・腎臓・血管の障害の進行が緩やかであることが報告されています。心臓は血液を送り出す臓器なので血管障害と直接関係があり、腎臓は毛細血管で老廃物を濾過し尿を作るので血管障害と密接にかかわっています。要するに血管障害を早期に発見し進行を抑制することが長寿につながるのです。では血管障害を早期に発見するにはどうしたらよいのでしょうか。心

臓の血管障害は簡単に知る方法はありませんが、腎臓で血管障害が起こると正常では漏れ出ない血管内の蛋白が早期から尿中に漏れてきます。蛋白尿は腎障害を示しているだけでなく全身の血管が障害されていることを意味していて、心筋梗塞や脳梗塞などが起こる前に警告を発しているのです。



平成23年にこの青空で慢性腎臓病のお話をしました。その中で、腎臓は症状が出にくいので知らず知らずのうちに悪化しむくみや息切れなどの症状が出現した時には透析という治療が必要となる場合があることと、腎機能障害を早期に発見し治療することで腎機能障害の進行を遅らせるだけでなく心・脳血管病変の発症も減少させることをお話しました。

健診などで蛋白尿を指摘された時は、まず当院の慢性腎臓病外来を受診して下さい。検査の結果によっては特殊な腎炎の治療が必要となる場合もありますが、慢性腎臓病ガイドに沿った治療で腎機能障害の進行だけでなく心筋梗塞や脳梗塞などの発症が抑制され、元気で長生きできます。残念ながら腎臓が進行し、腎代替療法(血液透析・腹膜透析・腎移植)が必要となった場合でも、当院では多職種が連携し治療の質のみならず生活の質を向上させ元気で生活していた状態に近づけるようにしています。

さあ、みなさん、健康長寿のためには尿蛋白の確認からですね。



## 人工関節センターの紹介



人工関節センター長  
本山 満

### 膝関節、股関節の手術に特化した専門外来

皆様こんにちは。人工関節センター、センター長の本山 満です。まだご存じない方もおられるかと思いますが、2022年5月から、杉山病院長のご承認により、人工関節センターを設立し、センター外来を始めております。毎週金曜日の午後3時から完全予約制で行っており、膝関節、股関節の手術に特化した専門外来であります。原則は紹介状のある患者様のみで始めておりますが、今後は手術の相談希望の患者様であれば紹介状がない場合でも予約が取れるようにしていく方針です。膝関節は本山が、股関節に関しては広島大学人工関節講座所属で股関節分野チーフの庄司医師と連携を取って外来や手術を行っております。このセンター外来の大きな特徴は一人当たり30分の完全予約制であるということです。手術を受けることを決めるということは、人生の中でも大きな決断の一つであると思います。人は知らないことや未経験のことは怖いものです。ましてや初めて手術を決めるとなれば計り知れない不安や恐怖を感じているものです。その不安や恐怖を少しでも軽減するには、歴史やトレンドも含めながら手術のことを正確に知ってもらう必要があります。ですので手術の説明には時間がかかるのです。通常の外来では一人当たり5-10分しか時間は取れませんので、このセンター外来は手術を考えている患者様には非常に有益です。これまでの利用者は安芸高田市、三次市、庄原市はもちろん、広島市安芸区や西区、岩国市などからも来院されております。今後も膝\*股関節疾患で困っておられる患者様のために、いい外来運用をしていきたいと考えておりますので、ご支援のほど宜しくお願い致します。

さて当院では2021年5月から、人工関節手術専用の手術支援ロボットアームを、**国内22番目**、

**広島県では初導入**し、最先端のロボット手術を行っております。現在まで約200例のロボット手術を行いました。大きな合併症やロボットの不具合などは今のところ認めておりません。当院の人工関節手術はこの10年間で、ロボットの導入だけでなく、術前術後の管理においてもかなり進歩しました。外来から入院時のオリエンテーションの充実が始まり、術中術後の出血量の減少、術後のリハビリ時の痛みの低減を目指したりハビリメニューの研究、クーリングや下肢挙上枕を活用した腫脹やむくみへの対策、さらに術後に使える鎮痛薬の種類を増加や適性使用の試み、術後下肢エコーによる合併症の早期発見、入院中の栄養指導、早期退院希望者への対応など、専門の医師だけでなく、看護師、理学療法士、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、事務スタッフなど多職種が連携し、意思統一を行うことができつつあるのではないかと感じています。今回の人工関節センターの設立が、多職種連携を進める上でのモデルとなり、吉田総合病院の柱の一つとなれるものと期待しております。



▲人工関節用ロボットアーム Mako (メイコー)

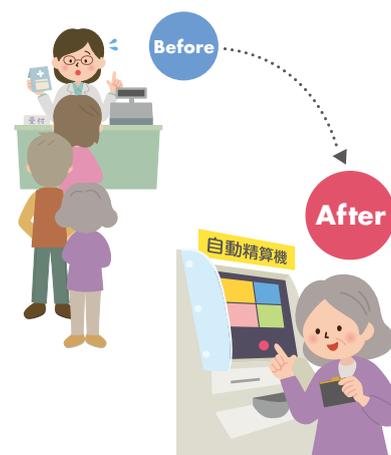


## 自動精算機を導入しました!



令和4年7月に自動精算機を導入し、医療費(外来分)のお支払いが出来るようになりました。当院の会計窓口は、これまでレジ1台での運用であったため、会計時の待ち時間の長さが課題となっていました。現在は従来の会計窓口に加えて自動精算機で支払いが可能になり、大変好評を頂いております。

現金、またはクレジットカードにてお支払いいただけますので、ぜひご利用ください。



## マイナンバーカードを 保険証として利用できます!

令和4年7月よりオンライン資格確認システムを導入し、マイナンバーカードを保険証として使えるようになりました。これにより、就職や転職、引っ越しをしても新しい保険証を待たずに受診できることや、限度額適用認定証を持参しなくても窓口で限度額以上の高額な支払いをする必要がなくなります。(健康保険証でもこれまでどおり受診できます)

今後は薬剤情報や健診情報など多くの情報が反映される予定ですので、まだマイナンバーカードをお持ちでない方はこれを機に発行の申請をしてみてもいいかもしれません。

